

# 製品名 ボンエポコート #55MP

AGCコーテック株式会社

系 統	特殊変性エポキシ樹脂塗料	
特 長	1. リン酸亜鉛を防錆顔料使用による防錆下塗塗料である。 2. 鉄鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミ材、ステンレス等の下塗りに最適。 3. 硬化が速く厚塗り可能。 4. 各種旧塗膜面（活膜状態）の上に塗り重ねできる。	
推奨用途	1. 橋梁、鋼管杭、プラント、タンク 2. 建築構造物 3. 船舶、機械船、コンテナ等	
荷 姿	16kgセット（塗料液12.8kg、硬化剤3.2kg） 4kgセット（塗料液3.2kg、硬化剤0.8kg）	主な適用法令  塗料液 労働安全衛生法 危険物（引火性の物） 有機則（第2種有機溶剤）  消防法 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級 II  硬化剤 労働安全衛生法 危険物（引火性の物） 有機則（第2種有機溶剤）  消防法 第4類第2石油類（非水溶性） 危険等級 II  労働基準局長通達 基発第477号 エポキシ硬化剤主成分表示
混 合 比	塗料液：硬化剤 = 4：1	
ポットライフ	24時間以内（23℃）	
色 相	白、グレー	
乾燥時間	指 触 乾 燥 8時間（23℃） 硬 化 乾 燥 18時間（23℃）	
塗装間隔	下限24時間、上限10日	
標準所要量	エアレス 0.17kg/m <sup>2</sup> ハケ0.13kg/m <sup>2</sup>	
標準塗膜厚	エアレス40μ ハケ40μ	
塗装方法	エアレススプレー、ハケ	
希 積 剤	専用シンナー	
希 積 率	エアレス 0～5%	
比 重	塗料液 1.30 硬化剤 0.99	
引 火 点	塗料液27℃ 硬化剤28℃	
貯蔵安定性	6ヶ月（混合前）	
塗装上の注意	1. エポキシ樹脂塗料の取扱基準により注意して取り扱うこと。 2. ポットライフを厳守すること。	
備 考	詳細に関してはMSDSをご覧ください。	

制定：2002年6月M

改定：2008年11月14日M

## 取扱い上の注意事項

### 1. 取扱い方法及び保管

- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- ・取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
- ・容器からこぼれた場合には、ウエスで拭きとって、水をはった容器に保管して下さい。
- ・塗料あるいは溶剤等の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでは、必ず水に漬けておいて下さい。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- ・缶上部の取っ手は手下げ専用です。ロープやフック等を取っ手に取り付けてつり下げないで下さい。
- ・貯蔵中は容器を密閉し、直射日光や雨のあたらない、換気の良い一定の場所を定めて保管して下さい。
- ・部外者の出入りできないところで、かつ子供の手の届かないところに保管して下さい。

### 2. 救急処置

- ・皮膚や着衣に付着した場合は、水やせっけんで十分に洗い落とし、皮膚に痛みや外観の変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- ・目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。

### 3. 火災時の処置

- ・万一、火災が発生した場合には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

### 4. 廃棄

- ・廃材、材料の付着したウエス等は安全な方法で保管し、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ・容器は中身を使い切ってから、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

### 5. 誤使用

- ・本来の用途以外（シンナー遊び、汚れ落とし等）に使用しないで下さい。
- ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。

### 6. 詳細情報

- ・詳細な情報が必要な時は、製品安全データシート（MSDS）をご参照下さい。